



立春が過ぎました。暦の上ではすでに春…ですが、先日、和歌山市では26年ぶりに雪が積もりました。寒暖の差が激しい今日この頃です。これから少しずつ暖かい日が増え、桜前線のたよりも賑やかになることでしょう。訪問させていただくお宅でも、満開だった繡梅がそろそろ終わりを告げ、白梅がきれいに咲いています。チューリップも芽を出しました。春は確実にそこまで来ています。訪れる春を喜び合えるよう、まだ寒い日々をしっかりと歩きたいと思います。



森下さち子ニュース

2011年2月号
和歌山市鳴神1145の6
市議員団ホームページ
Tel (474) 6556
<http://jcpwkymsakurane.jp/>



2月議会が始まります

16日に全員協議会が開かれ、市長から予算内示がありました。1週間後の23日から開会されています。今回は2010年度の最終補正予算と2011年度の新年度予算が提案され、審議する議会です。

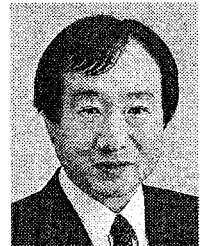
要求が予算案に反映!

2011年度の新規事業として129件が提案されました。この中で党議員団に寄せられた要望や住民団体の方とともに取り組み反映されたものをご紹介します。

- ◆ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチンの接種費用を無料にする。
- ◆子宮頸がんワクチンの接種費用の助成。
- ◆学童保育を全小学校区へ実施するとともに空調設備を設置する。
- ◆国民健康保険の加入者のうち、生活困窮者へ医療機関の窓口負担金を減額する。

こんにちは! 藤井健太郎です

(ふじいけんたろう)



今年の7月24日、今までのテレビ放送は終了し、地上デジタル放送に対応したテレビか専用チューナーをつながないとテレビが見られなくなります。

混雑している電波の領域にすき間をつくるためと説明されていますが、デジタル電波が届かない地域やビル影などの共聴アンテナへの対応が遅れていることもあり、日本共産党はすべての家庭でテレビが視聴できるまで放送終了を延期するよう求めています。

また、同時に国や放送事業者の責任でデジタル放送が視聴できるように支援の強化を求めています。

これまで、NHK受信料全額免除(生活保護、障害者のいる住民税非課税、社会福祉施設に入所)世帯については、無料でチューナー1台を設置していましたが、すべての住民税非課税世帯にまで拡大されました。これからも支援の強化を求めています。

県会議員 ふじい健太郎

誰でも傍聴できます

各会派からの代表質問は3月2日、一般質問は3日～8日まで、常任委員会は9日～14日までの予定です。代表質問はダイジェスト版がテレビわかやま、和歌山放送でそれぞれ放映、放送されます。ぜひ、ご覧下さい。

また、本会議、常任委員会は、誰でも傍聴することができます。ご都合のつく方はぜひ、傍聴にお越し下さい。

- ◆障害のある中高生の放課後や長期休暇中の活動の場「地域生活支援事業」の利用料を減額する。
 - ◆生ゴミの水切りモニター事業、ごみ減量広報誌の発行、他。これらはいずれも、市民の方や運動団体の要望に基づき党議員団が議会に取り上げてきたものです。
- 予算案が「予算」として決定されるのは、最終日3月18日の採決により可決されてからです。
- 今期最後の議会となる2月定例会も力いっぱい取り組みます。

中小業者の仕事作りを進めるために

「住宅リフォーム助成制度」

学習会を開催しました

2月11日、東播建設労働組合の特別執行委員辻本達也さんをお迎えして、兵庫県明石市で10年前に始まった「住宅リフォーム助成制度」の仕組み、実施されるまでの経過や仕事作りの効果などをお話していただきました。

明石市では阪神大震災直後には追いつかないほどの仕事があったにもかかわらず、10年かけて行うべき復興事業を3年で行ったことでその反動が起こり一気に仕事がなくなったそうです。

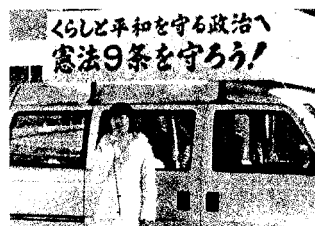
東播建設労働組合に仕事を確保して欲しいという声が殺到し、東京の板橋区で成功していた工資金額の消費税分5%を区が負担するという制度を視察。明石市へ働きかけて「住宅リフォーム助成制度」が2000年に発足しました。

【明石市の住宅リフォーム助成制度】

市が市民の住宅リフォームに関わる施行金額の10%（最高10万円）を助成します。リフォームの内容は屋根、外壁、内壁、床、天井、窓、扉、階段の工事、ベランダ、物干し場の工事、断熱化工事、バリアフリー工事、アスベスト除去工事、防水、防風、防火工事などなど多岐にわたります。



2月13日
事務所にて



森下さち子事務所開き

4月に迫ったいっせい地方選挙は市や県の果たす役割が問われる選挙でもあります。昨年秋から取り組んだ「くらしのアンケート」は、現在800通を超える回答が返送されてきていますが、いずれもくらしの厳しさを物語るものとなっています。アンケートにご回答くださったみなさんに心からお礼を申し上げます。

寄せられたご要望やご意見の中で特に多かった国保料の引き下げや仕事の確保、子育て支援などは緊急の課題であり、市や県での制度の実施や拡大に引き続き取り組む決意です。

事務所開きにおいでくださったみなさん、ありがとうございました。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

初年度組んだ1000万円1000件分の予算は要望が殺到したため、3倍に増額。途中でいったん中断したものの、緊急経済対策として2009年に復活し、また応募が殺到したということです。この効果を検証するため経済の専門家である大学教授に調査を依頼したところ、組んだ予算の実に11倍の経済波及効果が認められるという結果が出ました。

和歌山市でも実施に向けて

力を合わせよう!

学習会には和建労のみならず数人参加してくださいました。また、工務店や一般建築、左官など建設関係の業者さんも参加され活発な発言もあり、「リフォーム助成制度」への期待がさらに高まったと思われる。

和歌山市に合ったよりよい制度としての実施に向けてさらにならばろうと思つた次第です。

日本共産党演説会

市田書記局長がお話します
3月7日(月)19:00より
ダイワロイネットホテル

県・市議候補がせいぞろいします。
みなさんのお越しをお待ちしています。

おつきく なあれ

森下さち子の
元秘書
成長日記

先日、紀ノ川市の貴志川中学校へ給食を見学させてもらいに行ってみました。紀ノ川市は、5町合併を機に貴志川町のみ未実施だった中学校給食を今年11月からスタートさせています。形態は全面業者委託であり、とにかく早くスタートさせることを最優先したということでした。貴志川中学校は紀州材を使用した床や壁面になっており、校舎も合併直前に建替え、木のぬくもりが感じられる造りになっていました。給食の導入には施設の増改築も必要であることから、建替えには好都合であったとのこと。業者から配達された給食を保管するスペースが各階に設けられていました。和歌山市では、先頃「中学校給食協議会」を立ち上げました。か、形式、時期、課題などの議論はこれからです。長男も長女も中学校給食を経験することはできませんでしたが今後の子どもたちが、温かく作り手の見える給食を食べられるよう、引き続き力を尽くしたいと思います。